



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2020年5月8日夕刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

①プーチン氏の政治目標は何か、記事中から探して書きなさい。

「プーチンのロシア」20年 米欧敵視、ソ連的世界観回帰

【モスクワ共同】ロシアのプーチン大統領(67)が2000年5月

の米欧協調路線を継承

プーチン氏は当初、エリツィン初代大統領

M)制限条約や中距離と対立し国際舞台で存

に初めて大統領に就任し、最高実力者の座に就いてから7日で20年。ソ連崩壊後、米欧と同じ価値観を持つ民主国家を目指したロシアは、プーチン時代の20年を経て、再び米欧と対決するソ連的世界観に回帰。中国に接近するなど独自の道を模索している。米欧対立の激化で、日本と北方領土問題を解決し平和条約を結ぶ機運も遠のいた。

したが、北大西洋条約機構(NATO)がソ連圏だった東欧諸国を加盟させ、旧ソ連諸国も取り込もうとしたことに猛反発。08年8月のジョージア(グルジア)戦争や、14年春のウクライナ南部クリミアと東部へのロシアの軍事介入は、旧ソ連諸国がNATOの影響下に入ることを「武力行使しても阻止する」との強硬なメッセージだった。

プーチン氏は、弾道ミサイル(AB高年層の多くは、米国の核戦力(INF)廃棄を一方的に離脱した米国の軍事的優位に立つことを警戒。ロシアは新たな「極超音速」の戦略核兵器を開発し、優位に立つたと主張している。



2000年5月7日、ロシア大統領就任式に臨んだプーチン氏。右はエリツィン初代大統領(タス=共同)

②20年間も長期政権が維持されているのはなぜか。記事から探して書きなさい。

在感を強めるプーチン氏の世界観を共有。憲法改正により、現任期が切れる24年以降も同氏の続投を望むのは、こうした人々だ。

一方、20年の長期政権に「プーチン疲れ」を感じる国民は約4割に達するとの分析もある。新型コロナウイルスの大流行への対応次第で、プーチン氏の支持

基盤が揺らぐ可能性も指摘される。議会は与党が圧倒的多数を占め政権の意向を承認するだけの存在。メディアは次々と政権の統制下に陥り、言論・報道の自由は後退した。プーチン氏を批判した政治家、ジャーナリストらが暗殺さ

③写真の中、プーチン氏の頭上にあるのは“双頭の鷲”である。この紋章を用いている国を挙げよ。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 塚本学(常葉大学付属常葉中学・高校 教諭)

(中学3年生～高校生/社会、国語、総合、生活、特別活動、生徒指導)

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

「プーチンのロシア」20年 米欧敵視、ソ連的世界観回帰

①プーチン氏の政治目標は何か、記事の中から探して書きなさい。

**ロシアの歴史的
影響圏の維持
(武力行使を用
いても)、米国と
の戦略的安定確保**

②20年間も長期政権が維持されているのはなぜか。記事から探して書きなさい。

- ・ソ連崩壊後、屈折した思いを抱いていた中高年層の多くがプーチン氏の世界観を共有しているから(ロシアの国家としてのプライドを保てるから)。
- ・議会でプーチン氏の与党が圧倒的多数を占めるから
- ・メディアが政権の統制下に陥っているから

③写真の中、プーチン氏の頭上にあるのは“双頭の鷲”である。この紋章を用いている国を挙げよ。

ドイツ、セルビア、アルバニアなど。かつては、東ローマ帝国、神聖ローマ帝国も。

【モスクワ共同】ロシアのプーチン大統領(67)が2000年5月

の米欧協調路線を継承

プーチン氏は当初、エリツィン初代大統領

M)制限条約や中距離と対立し国際舞台で

に初めて大統領に就任し、最高実力者の座に就いてから7日で20年。ソ連崩壊後、米欧と同じ価値観を持つ民主国家を目指したロシアは、プーチン時代の20年を経て、再び米欧と対決するソ連の世界観に回帰。中国に接近するなど独自の道を模索している。米欧対立の激化で、日本と北方領土問題を解決し平和条約を結ぶ機運も遠のいた。

プーチン氏は当初、エリツィン初代大統領の米欧協調路線を継承した。だが、北大西洋条約機構(NATO)がソ連圏だった東欧諸国を加盟させ、旧ソ連諸国も取り込もうとしたことに猛反発。08年8月のジョージア(グルジア)戦争や、14年春のウクライナ南部クリミアと東部へのロシアの軍事介入は、旧ソ連諸国がNATOの影響下に入ることを「武力行使しても阻止する」との強硬なメッセージだった。

プーチン氏は、弾道弾迎撃ミサイル(ABM)制限条約や中距離と対立し国際舞台で



2000年5月7日、ロシア大統領就任式に臨んだプーチン氏。右はエリツィン初代大統領(タス=共同)

在感を強めるプーチン氏の世界観を共有。憲法改正により、現任期が切れる24年以降も同氏の続投を望むのは、こうした人々だ。

一方、20年の長期政権に「プーチン疲れ」を感じる国民は約4割に達するとの分析もある。新型コロナウイルスの大流行への対応次第で、プーチン氏の支持

基盤が揺らぐ可能性も指摘される。議会は与党が圧倒的多数を占め政権の意向を承認するだけの存在。メディアは次々と政権の統制下に陥り、言論・報道の自由は後退した。プーチン氏を批判した政治家、ジャーナリストらが暗殺された背景には特務機関の暗躍が指摘される。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 塚本学(常葉大学付属常葉中学・高校 教諭)

(中学3年生～高校生 / 社会、国語、総合、生活、特別活動、生徒指導)